

ラビ

ラビはソフトなピロード状の感触をもった塗膜が得られる塗料です。形成被膜はソフトタッチの肌合いと優雅な色彩で、塗装物の意匠効果とイメージアップに極めて有効です。

◆特長

- 1.ソフトなピロード状の感触を有する塗膜が容易に得られます。
- 2.完全艶消で、角度による反射率の変化がほとんどなく、同一艶消状態に見えます。
- 3.独特の優雅な単彩色と多彩色が得られます。
- 4.素材面の粗さをカバーしますので塗装工程が簡素化可能です。

◆種類

- 1.ラビ(S) ……………単彩色
- 2.ラビ(M) ……………多彩色
- 3.ラビ(M)(F) ……………多彩色・ウエットタッチ

◆使用法

- 1.塗料は使用前に充分攪拌し均一にしてください。
- 2.2液タイプのポリウレタン樹脂塗料ですので主剤、硬化剤の混合割合は正確に守ってください。
- 3.専用のシンナーで希釈後60～80メッシュの金網でろ過してください。
- 4.希釈塗料の沈降及びそれに伴う色調ムラをなくするため時々攪拌してください。
- 5.金属素材又はプラスチック素材などに塗装できますが塗装条件は下記の通りです。
- 6.塗装後5～10分放置し、焼付乾燥してください。

工程	塗料名	シンナー名	混合希釈比 (質量比)	塗装粘度 (秒/FC#4・20℃)	スプレーガン 口径(mm)	吹付圧力 (Mpa)	乾燥条件
下塗	ユニバールNo.160 R用プライマー	No.2300又は 2300A	塗料 100 シンナー 40～60	13～17	1.2～1.5	0.4～0.5	120℃×30min
上塗	ラビ各色 ラビ硬化剤M-60	冬 No.7200 春秋 No.7400 夏 No.7600	塗料(主剤) 100 硬化剤 25 シンナー 40～50	12～16	1.2～1.5	0.3～0.4	120℃×30min

◆使用上の注意

- 1.主剤/硬化剤の混合割合は指定通り、正確に計ってください。
- 2.硬化剤は空気中の水分と反応して固化する性質がありますので、密栓して冷暗所に保存下さい。
- 3.希釈には必ず専用シンナーを使用して下さい。専用シンナー以外を使用すると塗膜性能が出ない場合があります。
- 4.2液タイプの塗料は硬化剤混合後反応が進行しますので、混合した塗料は4時間以内に使い切ってください。反応は温度が高いほど、また初期粘度が高いほど加速されます。

◆用途

- 1.車輻関係
- 2.精密機器
- 3.電気機器
- 4.理化学機器

◆容量

16kg、4kg

◆試験成績表

試験項目	試験条件	結果
付着性	1mm方眼100個、セロテープテスト(付着目数/碁盤目数)	100/100
鉛筆硬度	三菱ユニ鉛筆使用	H
耐屈曲性	直径2mm棒で180°折り曲げる	合格
耐衝撃性	デュボン式 R=1/2"、W=4.9N、H=50cm	合格
耐水性	沸騰水中に30分間浸漬	合格
耐油性	60℃スピンドル油に30分間浸漬	合格
耐酸性	0.1N H ₂ SO ₄ 水溶液、20℃で24時間浸漬	合格
耐アルカリ性	0.1N NaOH水溶液、20℃で24時間浸漬	合格
耐塩水噴霧性	5%食塩水、35℃、72時間噴霧(クロスカットなし)	合格
耐光性	フェードメーター、200時間後の色差	ΔE=1.0以下

- 備考 1.素材：軟鋼板(ボンデライト144処理、150×50×0.4mm)
2.塗料：(下塗)ユニバールNo.160 R用プライマー／(上塗)ラビ(S)ブラック
3.乾燥条件：(下塗)140℃×30min、(上塗)120℃×30min
4.標準膜厚：30±5μm